

運営について

- ・生徒の学習が継続しない
- ・生徒が定着しない。来なくなる
- ・しだいに足が遠のく学習者に通ってもらうには？
- ・無料で来やすい反面、来なくなりやすい
 - 学習者のニーズを把握する ● 5
 - 日本での生活に必要なことをまず教えてあげる ● 2
 - 来た時に 100 円基金
 - コミュニケーション不足の解消のため動く
 - 目的を聴きそれに合わせてあげる ● 4
- ・学習者の人数に波がある
 - ボランティアの連絡網で対応
- ・講師数が足りない
- ・講師の数がギリギリでやっている
 - 新規講師向けの見学会、講習会の開催
 - 夜など日中以外の授業時間を設ける ● 1

教え方について

- ・毎回先生が変わるので継続性がない
- ・毎回、異なる人で対応すると、日本語スキルをつかむまで 30 分位かかる
- ・教え方がそれぞれ違う
- ・学習者と教師が毎回代わった場合、学習者は同じことを何度も聞かれて嫌になるかも。
 - 先生同士で進行状況をシェアしておく ● 8
 - ボランティア同士の連絡を密にする（少しくわしく） ● 5
 - 同じことを何度も話すことも勉強になるので良いことかもしれない ● 1
- ・学習者の学習希望と実際の学習内容が一致しない ● 3
- ・教えていることが学習者のニーズに合っているか疑問に思うことがある
 - 学習者の要求を常に把握する（日常会話希望 or 検定試験対策希望） ● 1
 - 学習者のニーズの聞き取りをして可能な範囲でニーズに沿う内容にする ● 3
 - 別のテキストやカードゲームや書き込みワークブックを見せて反応を見る ● 1
- ・何から教えて良いかわからない
- ・相手が外国人である時、何から話して良いかわからない

- ・まったく日本語ができないと、最初のコミュニケーションもとれない
 - 出身や年齢など身近なことから始める ● 2
 - その人の国の「こんにちは」を言ってみる。ネットで調べられる ● 1
 - スマホの多言語辞書や web の多言語対応テキストを活用する ● 4
 - 学習者が興味を持っていることについて話をするようにしたらどうか ● 4
 - 絵、写真、辞書（あれば）等を駆使！
（結婚式の時の親族集合写真等から入ると場がなごむ） ● 6

- ・大人むけマンツーマン型は仲間ができにくい
 - 先生と学習者の同一状況での社会実体験をやってみる。
 （近くの役所へ行くとか、SUICA を買ってみるとか） ● 3
 - 横のつながりを作ることを考える→まとまる機会を作る ● 8

- ・小3までの漢字を教えたのに、日記を書かせたらひらがなだけ
 - まず漢字そのものに興味を持てるゲームやアクティビティをして漢字を書いてみたい気持ちにさせる ● 4

- ・「読み・書き・聞く」はできるが、ほとんど話さない
 - 学習者が興味を持っていることについて話をするようにしたらどうか
 （例）アニメ、映画 ● 4

- ・「教える」と考えると堅苦しくなる 「教える」ことの難しさはどうしたらいい？
 - ボランティア同士の連絡を密にする（少しくわしく） ● 5

- ・週に1回なので、1回休むと間があいてしまう
 - 宿題を出す ● 2
 - メールや電話でコミュニケーションを取る ● 2

- ・わからないことを怒ってしまう
 - 外国人への異文化理解 ● 3

- ・教室型の日本語教室でも、国や言語、国籍の違いでグループにかたまってしまいがち。
 - 勉強に来る外国人の共通語は日本語なのでゲームなどで交流を図る ● 2

- ・日本語検定の問題が良くない、教えるにくい
 - わかりやすいテキストを探して購入する ただし予算の問題もあり ● 2

子ども

- ・ 数学などの理系教科の単語の説明がむずかしい
- ・ 子どもたちの目線に立つてことばを理解しやすくすることが求められる
 - 国語力が必要なのではないか
 - より簡単な日本語で時間をかける ● 4
 - 難しいことばを使わず簡単な単語に噛みくだく ● 4
- ・ 日本の学校にうまくなじめていない。学校をもっと楽しんでほしい。
 - パソコン教室、異文化理解ワークショップ、部活動との協力 ● 2
- ・ 小学校では担任との連携が取れる（取り出しができる）が、中学校（教科担任制）では時間の取り方が難しい⇒ 学校側（教師）の理解が不足している
 - 学校側に時間を取ってもらい連携を強めては？ ● 3
 - 先生とコミュニケーションをとる ● 3
- ・ 親御さんについてきた子ども？にどう指導したら良いか
 - 自己紹介などから始める
 - イベント等に招待し、仲間を増やす機会を設ける ● 3
 - 同年代の日本人学生と交流する機会を設ける ● 9
- ・ 高校進学時、学力差で希望が叶わない

学習者意見

- ・ しごといそがしいからここにきません
- ・ 仕事優先でなかなか勉強に来られない
- ・ 勤務形態がバラバラのため行ける教室がない
- ・ 近くに教室がない
 - いろいろなタイプ（時間・場所）の教室を増やす ● 1
- ・ JLPT の勉強をする教室がない
- ・ 日本語の基礎を教えて
 - 学習者の要求を常に把握する（日常会話希望 or 検定試験対策希望） ● 1
 - マンツーマン型は JLPT 対応もしやすい
 - 目的をよく聞く ● 2
- ・ 日本人の若者と大人は皆さん熱心ですから幸せです ● 2
- ・ ここでもっと日本語べんきょうします ● 1
 - 熱意大事

- 日本人の友だちがなかなか作れない
- いっぱい日本人に会うこと、それはいいチャンスです。でも日本語がちょっと分かるだけだから、ゲームに参加する時に賑やかじゃない… ● 1
- かんじむずかし 日本語をべんきょうしました 日本語をはなして、かんじをかいて